

科目名	情報処理工学 Information Processing Engineering			担当教員	高橋 直己		
学 年	5 年	学 期	前期	履修条件	選択	単位数	2
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	14134050	単位区分	学修単位
学習目標	Excel の基本操作および VBA の基本的な文法を修得する。修得した知識を活用し、建設環境工学の分野における専門的な問題に対して、Excel および Excel VBA を活用して解決する能力を身につける。						
進め方	Excel の基本操作、VBA プログラミングに関する基本的な考え方と文法を説明した後、コンピュータを用いた演習を行う。家庭学習課題を通じて理解を深める。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. Excel の基本的な操作方法 (6) (1) 授業ガイダンス (2) Excel の基本操作 (3) 基本的な Excel 関数の利用 2. マクロの作成 (7) (1) VBA によるマクロの作成・実行			<ul style="list-style-type: none"> ● Excel の基本的操作ができる。 ● 基本的な Excel 関数が使用できる。 ● Excel を利用し、建設環境工学の分野における専門的な問題を解くことができる。 ● マクロについて理解し、簡単なマクロを作成・実行することができる。 <p>学習・教育目標：(B-2) 「土木工学の基礎知識」に関する科目である。本科目では、情報処理分野に関する基礎・応用力を身につける。</p>			
	[前期中間試験] (2) 試験返却						
	3. VBA プログラミングの基礎 (7) (1) VBA プログラミングの基礎事項 (2) 条件による分岐 (3) 処理の繰り返し 4. VBA プログラミングの活用 (7) (1) 専門分野への適用			<ul style="list-style-type: none"> ● VBA プログラミングの基礎事項を理解している。 ● VBA を用いて“条件による分岐”および“処理の繰り返し”に関するプログラムを作成・実行できる。 ● Excel VBA を活用し、建設環境工学の分野における専門的な問題を解くことができる。 <p>学習・教育目標：(B-2) 「土木工学の基礎知識」に関する科目である。本科目では、情報処理分野に関する基礎・応用力を身につける。</p>			
	前期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績は、授業態度および課題への取り組みを 20%、定期試験を 80% として評価する。課題の提出遅れは減点する (未提出 0%、提出遅れ 50%)。 ・ 成績の点数は、2 回の試験についてそれぞれ 40% として評価に入れる。 						
履修要件	特になし						
関連科目	基礎情報処理 (2 年) → 応用情報処理 (3 年) → 応用データ処理学 (5 年)、情報処理工学 (5 年)						
教 材	教科書：学生のための Excel VBA (若山芳三郎著、東京電機大学出版局)、配布プリント						
備 考	単位追認試験あり (受験制限あり)						